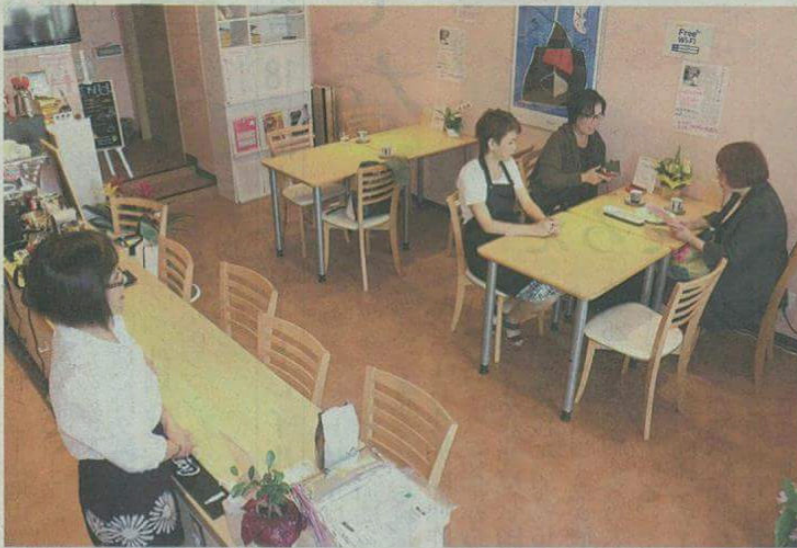


笑顔あふれる場所目指し

交流施設「ラップ・オ・タガイーニ」



中央区 ケアモデルハウス、カフェ併設 多世代集いにぎわう

カフェや高齢者が集う「地域の茶の間」を設けた交流施設「ラップ・オ・タガイーニ」が、新潟市中央区西堀前通3のビルに開所し、利用者が増え始めている。市が各区に1カ所ずつの設置を進める、住民同士

世代間交流を進め、住民同士が支え合える地域を目指す。住民や教育関係者らでつくる同区のNPO法人「コラボパーティー」が運営する。新潟を反対から読んだ「Tagaini」と、包むという意味の「ラップ」を組み合わせ、「お互いさまの思い」などを施設名に込めた。

施設は社会福祉法人が所有する3階建てビルの1、2階部分。1階はカフェで、コーヒーや軽食を提供する。ドリンクバーもあり、障害者や中学生以下は無料。

ラップ・オ・タガイーニの1階部分のカフェ。地域住民らの交流の場となることが期待されている。新潟市中央区西堀前通3。

中央区役所移転 知って



中央区役所移転までの日数を表示するカウントダウンボード＝26日、新潟市中央区



中央区役所移転をPRするマーク

新潟市中央区は、8月14日、中央区役所が古町地区の複合ビルNEXT21に移転することを知り、移転までの残り日数を示すカウントダウンボードを市役所前に設置した。移転をPRするマークも制作。区担当者は「さまざまな形で広報し、市民の混乱を防ぎたい」としている。

カウントダウンボードは縦約4尺、横約2尺で、NEXT21の建物を写したデザイン

PRマークも制作

中央区役所はNEXT21の2～5階に移転。2階には戸籍や住民票の発行など主な手続きをワンストップでできる総合窓口を設置する。

中央区総務課は「中央区役所は市役所と一体型の庁舎のため、普段利用している窓口が区役所だと思っていない市民もいる。移転後に間違えて市役所を訪れることのないように、丁寧に周知していきたい」としている。

カウントダウンボード設置

で利用できる。2階は「地域包括ケア推進モデルハウス」として開設。水曜と土曜の週2回、地域の茶の間を開き、多世代が楽しめるイベントを企画する。茶の間の開設日以外も自由に出入りでき、子どもも学習支援の場として活用する予定だ。モデルハウスは市内8カ所目で、今回の新設で全8区に1カ所ずつ整備された。

施設は今月上旬にオープンして以来、近隣の高齢者や会社員、高校生らが訪れている。週に3、4回利用しているという統合失調症の佐々木優さん(35)は「西区は「みんなが普通に接してくれるから、居心地がいい」と笑顔で話す。

運営するNPO法人理事長の本間庸子さん(45)は「一般の人にも気軽に利用してもらいたくて、カフェスタイルにした。障害のある人もない人も、高齢者や若者も笑顔で居られる場になるよう努めたい」と張り切っている。

開所時間は、午前10時～午後5時30分。休みは日、月曜日。問い合わせはラップ・オ・タガイーニ、025(378)3233、6。

移転当日の8月14日まで、残り日数が毎日表示される。マークは中央区のデザインが手掛けた。NEXT21の建物をモチーフにし、「中央」の文字を組み合わせた。中央区のイメージカラー「ウォーターフロントブルー」で表現し、移転を知らせる掲示物や職員の名刺などに印刷している。